

## 第5学年 国語科学習指導案

1 単元名 「和の文化祭」を開こう

教材名「和の文化を受けつぐ—和菓子をさぐる」(東京書籍 5年下)

2 単元の目標

○和の文化について調べて説明するという目的を意識して文章を読み、進んで調べてみたい課題を探したり、資料の提示の仕方を工夫して話したりすることができる。【国語への関心・意欲・態度】

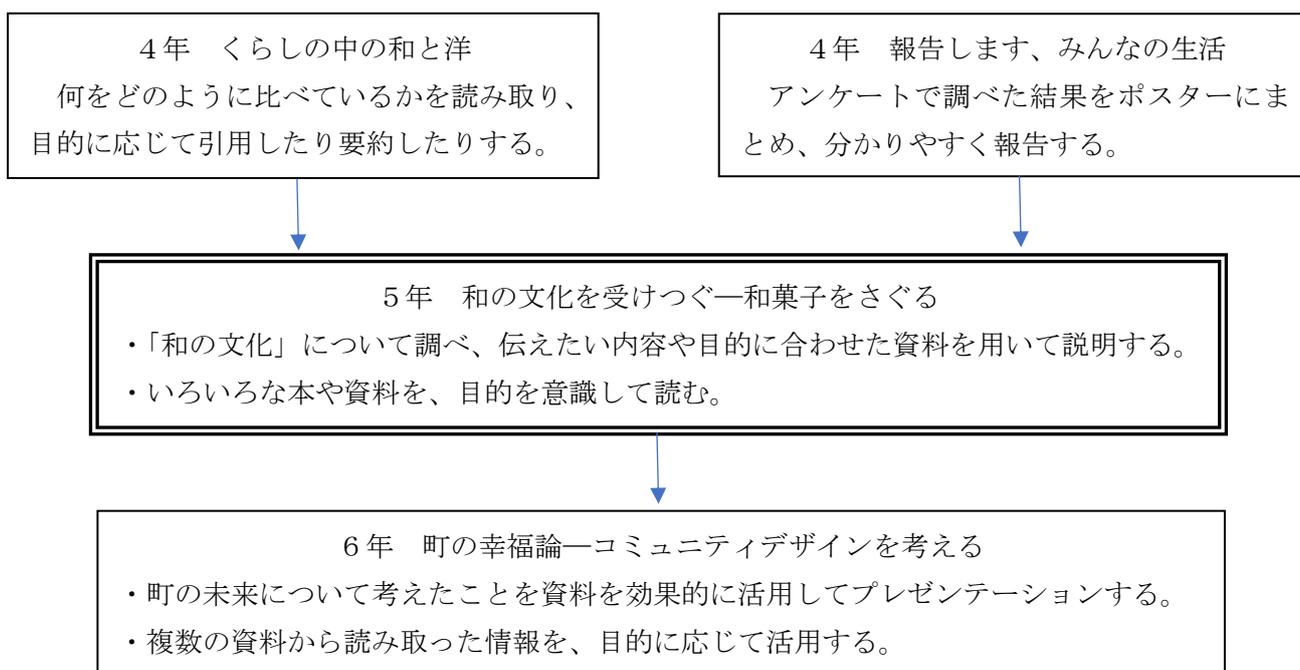
○事柄が明確に伝わるように、説明の構成を工夫することができる。【話すこと・聞くこと】

○自分の課題を解決するために、複数の本や文章を比べて読み、必要な情報を選ぶことができる。

【読むこと】

○文章のいろいろな構成について理解することができる。【言語に関する知識・理解・技能】

3 基盤 省略



4 単元指導計画 (全13時間 本時11/13)

次	時	学習内容	評価				評価規準
			関	話聞	読	言	
1	1	○教材文を通読し、和の文化について調べ、発表するという学習課題について確認し、今後の見通しをもつ。	○				【関】和の文化について調べて発表するという目的を意識し、学習の見通しをもつことができる。(発言・態度)

	2	○文章を序論・本論・結論に分け、筆者の主張を読み取る。			○	【読】和の文化について要旨をとらえて読み取ることができる。(発言・ノート)
	3 4	○「歴史」、「他の文化との関わり」、「支える人々」という3つの観点や構成に着目して、筆者の考えや説明の仕方を読み取る。			○	【読】3つの観点や構成に着目して、内容を的確に理解して読み取ることができる。(発言・ノート)
	5	○教材文を使って資料の効果について考える。 ○写真、グラフ、年表などの効果について確認する。			○	【読】資料の効果を考えることができる。(ワークシート・発言)
2	6 7 8	○各グループで3つの観点ごとに役割分担を決める。 ○資料から情報を分類・整理し、発表メモを作成する。	○		○	【関】観点ごとに担当者や調べることを決めることができる。(ワークシート・発言) 【読】本から観点に関わる内容を読み取っている。(付箋・発言) 【読】観点別に情報を整理できる。(発表メモ)
	9	○説明の構成や説明に効果的な資料についてグループで検討する。			○	【読】説明の構成や説明に必要な資料について考えている。(発表メモ、発言)
	10	○発表メモを使い、グループごとに発表の準備、練習をする。			○	【話聞】発表メモをもとに、用意した資料を用いながら説明する練習を行い、よりよい発表の仕方を考えている。(発表メモ・行動観察)
	11	○2グループごとに発表を聞き合い、発表の流れや発表に用いる資料について助言し合う。 ○助言をもとにグループで発表内容を見直す。  (本時11/13)		○	○	【話聞】発表を聞き合い、説明の構成や発表に用いる資料について助言することができる。(アドバイスカード・発言) 【話聞】説明をより分かりやすくするために、説明の構成や資料を見直す。(ワークシート、振り返りシート、発言)
3	12	○助言をもとにグループで発表内容を見直し、発表練習をする。			○	【話聞】説明をより分かりやすくするために、説明の構成や資料を見直す。(振り返りシート、発言)
	13	○ALTを招いて、和の文化祭を開く。			○	【話聞】説明の構成や資料の使い

						方という視点を意識し、発表したり発表を聞いたりすることができる。(発表メモ・ワークシート) 【話聞】相手を意識して、自分たちが考えた発表を行うことができる。(発表・振り返りシート)
--	--	--	--	--	--	---

5 本時の学習

(1) 目標

互いに発表する活動を通して説明の構成や資料を見直し、修正を加えたり、資料を選び直したりして、より分かりやすい説明を考えることができる。

(2) 展開 (11 / 13 時間)

学習活動と予想される児童の反応	教師の支援
<p>1. 本時のめあてを確認する。(1分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>アドバイスを出し合って、より分かりやすい発表になるように見直そう。</p> </div> <p>2. 助言の視点を確認する。(5分)</p> <p>①説明の構成</p> <p>②資料 (内容、提示の仕方)</p> <p>3. 2つのグループで発表し合い、互いの発表について視点をもとに助言し合う。(発表3分、意見交流3分を2回 計12分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アップの写真の方が伝えたいことが強く伝わるとおもいます。</li> <li>・歴史について年表だけでなく、関わってきた人物の写真を紹介するとより分かりやすくなると思います。</li> </ul> <p>4. 助言を受けて、各グループで修正するとよいところや他のグループの発表を聞いて取り入れたところについて話し合い、説明の構成や資料について見直す。(22分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の意味が上手く伝わらないところがあったから、資料を見せて補足しよう。</li> <li>・作業の様子の写真は手元の部分だけをアップしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人の指導者が発表したり、助言をしたりする様子をデモンストレーションで示し、3の活動の見通しを持つことができるようにする。</li> <li>・発表の構成や資料の内容、資料の提示の仕方という視点を提示することで、発表の仕方や態度ではなく、発表内容に対しての助言ができるようにする。</li> <li>・アドバイスカードを用意することで、発表の良かったところや改善点について記入しながら発表を聞き、円滑に考えを伝えることができるようにする。</li> <li>・机間指導を行い、資料選びで困っている児童には、関わりのある資料をいくつか提示したりすることで資料を選びやすくする。</li> </ul>

<p>5. 選んだ資料や、友達の助言を聞いて分かったことについて振り返りシートに記入し、発表する。 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の話を聞いて、使おうと思っていたグラフでは分かりにくいことが分かったので、考え直そうと思いました。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>評価の観点 (話す・聞く能力)</b></p> <p>他のグループの発表の良かったところや助言をもとに、発表の構成や資料について考える。</p> <p style="text-align: right;"><b>【発言・アドバイスカード】</b></p>
--	---

(3) 本時の評価

評価基準	十分に満足と判断される児童の姿の具体例	おおむね満足できると判断される児童の姿の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
話す・聞く能力	説明の構成や資料を見直し、修正を加えたり、資料を選び直したりすると良いところをワークシートに書き、グループの人に改善案を出すことができる。	説明の構成や資料を見直し、修正を加えたり、資料を選び直したりすると良いところをワークシートに書くことができる。	○友達の発表やもらったアドバイスカードを受けて、納得したところや参考にしたいと思っているところを聞いたり、ワークシートに書く内容として具体的な言葉として提示したりする。

○研究の視点

アドバイスを出し合う活動はより分かりやすい発表にするために有効であったか。